

ヒューマンエラー防止対策セミナー

(PDCAを生かしてヒューマンエラーを防ぐ)

1. 研修の目的

マネジメントシステムは、業務即ちプロセスを運営管理し、改善するものです。プロセスアプローチつまり業務単位で取組む方法は、実は目的ではなく手段です。この手段に関する規格の優れた着眼点、考え方を取入れ実施することが重要です。

1977年、スペインのテネリフェ空港で、ジャンボジェット機同士の地上衝突事故が発生し、583人の犠牲者が出ました。事故当日は、濃霧や空港の混雑といった悪条件も重なり、航空機史上最悪の事態を招いたわけですが、この大惨事の直接の原因は、「離陸のスタンバイ」を「離陸許可」と誤認、副操縦士と管制官が標準でない用語を交信に使用など、いずれも人為ミス(ヒューマンエラー)と考えられています。

わが国の製造業の中で集積されたボカヨケについての演習を加えたのちに、エラー防止のマネジメントについて総合的に検討します。社員様が有効性の高い改善活動を行える様、経験豊富なコンサルタントが実践的に解説します。

2. 受講対象者 経営者、管理職、一般社員

3. 受講者数 30名様以内

4. カリキュラム

8:30~9:30	ISO9001とヒューマンエラーのつながり PDCA ヒューマンエラーを表す言葉。意としない結果を生じる人間の行為。
9:30~10:30	人為ミス、過誤、過失、人的要因、うっかりミス、ポカミスについて なぜ起こるのか? エラーを防ぐ知恵、異常検知のための16の方法
10:30~11:30	(例)スペインのテネリフェ空港で、ジャンボジェット機同士の地上衝突事故 事故原因、ヒューマンエラーの特徴と深刻さ、問題の定義と分析 問題を定義するステップ
11:30~12:00	質疑応答 閉会
8:30~9:30	演習問題1 事例→対策→演習 エラー対策検討シート エラーの事象(どのようなエラーが起こったのか?)直接の原因、状態が発生したのはなぜ? なぜのなぜ?問題解決対策案。
9:30~10:30	演習問題2 事例→対策→演習 エラー防止のマネジメント ホーン効果、逆ホーン効果、タスクフォース、
10:30~11:30	フローチャートはわかりにくい。プロセス(書式)の作成原則、ポップアップ効果。
11:30~12:00	質疑応答 閉会

* 開催時間は貴社の就業時間に合わせます。

5. 講師

株式会社テックス コンサルタント 青山 俊一

専門分野: 経営管理、教育、マーケティング

資格: ISO9000 IRCA 登録主任審査員

ISO14000IRCA 登録主任審査員 IPA QMS コンサルタント研修修了

コンサル経験: 建設、電気・光学機器、基礎金属・加工金属製品、
印刷、ゴム・プラスチック製品、コンクリート・セメント製品、水道、
医療・社会团体、輸送・倉庫・通信、卸売・小売業



6. 研修費用

お問合せください。